



〇〇は希有なもの…!

千尋と林の懸賞推理クイズ!

正解発表

夏目 千尋



犯人 桃戸瀬 涼



冬野 林太郎

林太郎 「犯人は桃戸瀬 涼さんだ!」

千尋 「桃戸瀬さんの借金はわずかだし、殺害動機は弱いんじゃないの?」

林太郎 「実はこの殺人は平成元年に導入された消費税が引き金になってたんだ。京阪さんが言った平成元年から消費税分を値引きされていた前の工務店は桃戸瀬さんだったんだよ」

千尋 「ええ! 桃戸瀬さんが工務店の人って、なんでわかるのよ?」

林太郎 「桃戸瀬さんが言った『ふれあい館の床は防火建材の『大平板』を使ってるから、燃え広がらなくてボヤですんでよかったね』の『大平板』って建築用語で職人の使う言葉だし、ふれあい館の床に使用してることも知っていた」

千尋 「桃戸瀬さんはひどい値引きの果てに仕事も奪われたのね! でも、その動機だけで犯人と決めつけるのはよくないわよ!」

林太郎 「八吉さんが岡田さんにかけて電話はダイニングメッセージだったんだ。あの百年記念プレートは犯人を表しているんだ」

千尋 「百年記念プレートってスマイル千林の前にあるせんばやししょうてんがいのはっしょう ひやくねん きねん へいせい ねん せっち 千林商店街発祥 百年を記念して平成23年に設置されたものでしょ」

林太郎 「そうだよ! じゃあ、その『百年』ってなんて読む?」

千尋 「『ひやくねん』でしょ! 読めるわよ! バカにしないで!」

林太郎 「実は百年と書いて『ももとせ』とも読めるんだ!」

千尋 「えええー!! 桃戸瀬さんだ! じゃあ、あの電話は!」

林太郎 「夫婦仲が悪かったことや奥さんに殴られたことも知ってた桃戸瀬さんが八吉さんを脅して奥さんに罪を着せようと偽装工作させて電話をかけさせてんだ」

千尋 「それで八吉さんは異常に気づいてほしくて、百年記念プ

レートは嫌いなんて嘘を言ったのね!」

林太郎 「そう、それと八吉さんは普段、百年や百歳のことを『ももとせ』と言っていた。奥さんが難しい読み方と言っていたのがそれだよ。なのに電話では『ひやくねん』と言った。桃戸瀬さんの名前を伝えたくてね」

千尋 「でも桃戸瀬さん、凶器は持ってなかったわよ」

林太郎 「凶器は部屋の中にあるパイプ椅子だよ! 一脚だけ足の部分が曲がってる!」

千尋 「おかしいわ! あんなに八吉さんを殴って、パイプ椅子に血が付いてないし、桃戸瀬さんは返り血も浴びてないじゃない」

林太郎 「逆におかしくないか! あの椅子が本当にあの場所にあったら、椅子の下にはしっかりと血しぶきが飛んでいるのに、あの椅子には一滴も血がついていない! ところで…あの時の桃戸瀬さんの服装っておかしくなかった?」

千尋 「あっ! そうだわ! こんな寒い真冬にTシャツ一枚だった!?!」

林太郎 「そうだ! 答えはこうだ! 殺害時には桃戸瀬さんは上着を着てたんだよ! 八吉さんの返り血を浴びた上着で凶器の椅子に付いた血を拭き取り、椅子をあの場所に置いた、そして…」

千尋 「血を拭いた上着を燃やしたのね!」

林太郎 「そうだ!」

推理を聞いた岡田は一部始終を警察に話した。桃戸瀬 涼は全て推理通りだと犯行を認め、事件は解決した。平成より一足早く終焉を迎えた柿本 八吉は念願の百歳を迎えることはできなかった。しかし、千林商店街は賑やかに、そして元気新しい年を迎えるのだった。

犯人と殺害動機は? 犯人は桃戸瀬 涼 動機は前の工務店で消費税分の値引きの果てに仕事を奪われた

犯人の決め手は? ダイニングメッセージの『百年』は『ももとせ』と読む

消えた凶器は? 床に血しぶきがあるのに血が付いていない足が曲がっているパイプ椅子が凶器
パイプ椅子で殴り、パイプ椅子に付いた血は返り血を浴びた上着で拭き、上着を燃やした